

# 統合中に4億円など 平成20年度 決算を認定

## 決算規模

一般会計及び特別会計を合算した決算規模は、歳入68億9677万円、歳出64億2653万円で差引残額4億7024万円となっている。前年度に比べると歳入では7.3%（5億3939万円）の減、歳出でも11.2%（8億1050万円）の減となっている。会計別では、前年度と比較すると一般会計は歳入歳出とも増となっているが、特別会計の総額は歳入歳出とも減となっている。

## 各会計歳入歳出決算額

区分	歳入	歳出	
一般会計	48億854万円	44億884万円	
特別会計	国民健康保険	8億4767万円	8億198万円
	老人保健	9619万円	9619万円
	次子簡易水道	647万円	647万円
	学校給食事業	9864万円	9864万円
	農業集落排水事業	8896万円	8856万円
	国営村山北部土地改良事業	1億57万円	1億45万円
	大石駅前土地区画整理事業	1億5833万円	1億5832万円
特別会計	介護保険事業	6億1494万円	5億9140万円
	後期高齢者医療	7646万円	7568万円
合計	68億9677万円	64億2653万円	

## 決算特別委員会審査報告

平成21年第3回定例会本会議から付託された認定議案10件について、さる9月11日から16日に各課ごと審査を行いました。審査結果は、いずれも原案のとおり認定すべきものと決定しました。

決算特別委員会  
委員長 芳賀 清



## 決算は適正 監査の審査報告

審査に付された平成20年度一般会計、及び9特別会計の歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調査及び財産に関する調査は、法令に準拠して作成されており、その係数は関係諸帳簿及び証拠書類と符合した結果、誤りのないものと認められる。

監査委員 柴田 晃  
監査委員 小玉 勇



## 一般会計

事項は、次回までに改善されたかどうかを判定いただいている。今後更に危機管理を持って事務執行にあたりたい。

・星川 久 委員  
Q 高齢者タクシーの件で、現行料金の割引は遠方利用者に不満が多いので改善できないか。  
A 同制度は始めて間もない事業で、利用者の平等性をどんな形ではかかっていくべきか検討したい。

・関 幸悦 委員  
Q レインボーバスがなくなった今、スクールバスの利用はできないか。  
A スクールバスは利用制限がある。このたび臨時交付金によるバス3台購入するが、一般市民の利用については可能かどうか検討したい。

・遠藤宏司 委員  
Q 公務員の不祥事事件がたびたびあるが、わが町の事務執行におけるチェック体制は万全か。  
A 過去の不祥事を教訓に、二度とあってはならないことと担当課長を中心に定期的なチェックをし、監査委員からの指摘

・小林征雄 委員  
Q 保育料の保護者負担金未収額、726万円あるが、保育料を口座振替に移行してから未収額が格段に増えている。集金の方法を変更する考えはないか。また3保育園ごとの未収額内訳は。  
A 入所申し込みの際、口座振替の手続きをお願いしているが、保護者の納入義務と安全性などからも口座振替はベストと思う。未収解消に課内で一層努力したい。保育園別の未収額は、ふたば保育園80万円、ふたば横山保育園が200万円、大

## 決算特別委員会の 質疑応答



順調に進む統合中学校

## 特別会計

・齋藤公一 委員  
Q この事業はほぼ終了したが、借金の残高と返済計画はどうなるか。  
A 元利合計で約22億円を平成40年度まで返済していくことになる。元金返済の一番多い年度は平成24年度で1億9400万円。利子分で今年度2000万円ほどになる。

・青木久子 委員  
Q 駅ロータリーの無散水施設の融雪プールが利用されていないが、また、駐車場の適切な活用は、無散水消雪の外から重機で雪を搬入することになるため施設が耐えられるか、この冬試験して対応したい。駅前駐車場の利用については、一般の利用者に迷惑がからないように指導徹底していきたい。

・遠藤宏司 委員  
Q 医療費の支出の変遷もあるが国保税の見直しは決算の状況を反映していくべきと思うが、来年度以降の考え方は。  
A 医療費負担については、年度によって疾病の発生状況で大きく変化するし、制度改正でも影響する。国保財政の健全化のためにも、毎年度改定をはかっていく。

## 国民健康保険